



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キトー

コード番号 6409 URL <http://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長

(氏名) 遅澤 茂樹

TEL 03-5908-0161

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第3四半期 | 35,291 | △10.7 | 1,969 | △31.5 | 1,648 | △33.1 | 659 | △44.4 |
| 28年3月期第3四半期 | 39,536 | 20.3 | 2,876 | 56.1 | 2,465 | 29.4 | 1,185 | △6.6 |

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 △276百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 837百万円 (△72.6%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第3四半期 | 27.55 | 27.49 |
| 28年3月期第3四半期 | 45.17 | 45.04 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第3四半期 | 60,719 | 19,608 | 31.0 |
| 28年3月期 | 60,639 | 26,040 | 41.2 |

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 18,807百万円 28年3月期 25,011百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 14.00 | — | 14.00 | 28.00 |
| 29年3月期 | — | 14.00 | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | — | — | 14.00 | 28.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 53,000 | △5.1 | 3,700 | △29.1 | 3,200 | △30.1 | 1,800 | △27.9 | 78.13 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) Kito Australia Pty. Ltd. 、除外 1社 (社名)
 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 29年3月期3Q | 27,048,200 株 | 28年3月期 | 27,048,200 株 |
| 29年3月期3Q | 6,737,059 株 | 28年3月期 | 787,016 株 |
| 29年3月期3Q | 23,947,293 株 | 28年3月期3Q | 26,250,073 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|-------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | P. 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | P. 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | P. 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | P. 4 |
| (4) 追加情報 | P. 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | P. 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 7 |
| 四半期連結損益計算書 | P. 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | P. 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 9 |
| (セグメント情報等) | P. 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、中国をはじめとするアジア新興国の景気減速、天然資源価格の下落、為替市場の動向、不安定な欧州情勢の影響など、先行き不透明な状況が続きました。一方で日本国内は、設備やインフラの老朽化を背景とした投資需要の下支えにより、総じて回復基調で推移し、米国では堅調な個人消費に支えられて、設備投資、住宅投資に改善の兆しが見られました。

このような環境の下、新中期経営計画の初年度として、その経営目標である、高収益体質への回帰、利益・キャッシュの創出と、既存事業の生産性、効率の最大化に向けた施策を実行してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、為替の影響を除けば前年同期比で微減であるものの、円高による減収影響を受けた結果、35,291百万円（前年同期比10.7%減）となりました。利益につきましては、生産効率の向上とコスト削減を推進してまいりましたが、欧州企業買収に向けた入札などに要した費用約6億円を計上した結果、営業利益は1,969百万円（前年同期比31.5%減）、経常利益は1,648百万円（前年同期比33.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は659百万円（前年同期比44.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。当社グループは、当社および連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

| セグメントの名称 | 売上高(前年同期比) | 営業損益(前年同期比) |
|----------|------------------------|-------------------------------|
| 日本 | 17,430百万円 (6.9%減) | 3,368百万円 (19.4%減) |
| 米州 | 17,348百万円 (13.6%減) | 795百万円 (43.1%増) |
| 中国 | 4,143百万円 (33.8%減) | 448百万円 (40.6%減) |
| アジア | 2,719百万円 (10.5%減) | △111百万円 (前年同期は179百万円の営業損失) |
| 欧州 | 914百万円 (17.3%減) | △33百万円 (前年同期は 17百万円の営業利益) |
| その他 | 857百万円 (— %) | △24百万円 (— %) |

(日本)

インフラ関連投資に向けた堅調な荷動きが寄与し、国内市場での売上高は前年同期を上回って推移しましたが、海外子会社の在庫削減をはかり輸出を抑制した結果、前年同期に比べて6.9%減の17,430百万円となりました。利益面では円高の影響により、営業利益は前年同期に比べて19.4%減の3,368百万円となりました。

(米州)

米国では、政権交代などの不透明感の高まりを受けて企業の設備投資の先送りがみられたことなどから、米州全体の売上高は現地通貨ベースでは微減となり、前年同期に比べて為替が円高で推移したことから、日本円換算後は17,348百万円（前年同期比13.6%減）となりました。営業利益は、事業の効率化とコスト削減策を継続した結果、795百万円（前年同期比43.1%増）となりました。

(中国)

経済の減速を受けて需要が全般的に低調に推移し、売上高は4,143百万円（前年同期比33.8%減）、営業利益は448百万円（前年同期比40.6%減）となりました。コスト削減による利益確保を継続し、営業利益率は維持しております。

(アジア)

韓国でフラットパネルディスプレイ業界向けにクリーンルーム用クレーンなどの需要を取り込み、事業を拡大する一方で、その他アジア地域では、中国の景気減速の影響を受けた地域経済の成長鈍化により投資需要が減じた結果、売上高は2,719百万円（前年同期比10.5%減）となりました。利益面では収益の改善策を継続し、111百万円の営業損失（前年同期は179百万円の営業損失）となりました。

(欧州)

原油価格の動向や、欧州とその周辺地域の情勢等に不透明感が増すなか、売上高は914百万円（前年同期比17.3%減）、営業損失は33百万円（前年同期は17百万円の営業利益）となりました。

(その他)

豪州で買収したKito Australia Pty. Ltd.及びその子会社を第1四半期連結会計期間末より連結範囲に含めた結果、売上高は857百万円、営業損失は24百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

資産合計は60,719百万円と前連結会計年度末に対し79百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の減少463百万円、受取手形及び売掛金の減少1,994百万円、商品及び製品の増加2,444百万円、仕掛品の増加1,286百万円等によるものです。

② 負債

負債合計は41,111百万円と前連結会計年度末に対し6,511百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金の増加487百万円、短期借入金の増加5,484百万円、長期借入金の増加439百万円等によるものです。

③ 純資産

純資産合計は19,608百万円と前連結会計年度末に対し6,432百万円減少いたしました。これは、自己株式の増加5,462百万円、為替換算調整勘定の減少994百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年12月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間において、Scaw Metals Pty. Ltd. (平成28年7月27日付で「Kito Australia Pty. Ltd.」に商号変更)の全株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,529 | 8,065 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,761 | 9,766 |
| 商品及び製品 | 10,735 | 13,180 |
| 仕掛品 | 1,599 | 2,886 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,517 | 1,643 |
| その他 | 3,522 | 2,353 |
| 貸倒引当金 | △66 | △89 |
| 流動資産合計 | 37,599 | 37,805 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,668 | 4,387 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 4,861 | 4,987 |
| その他(純額) | 2,370 | 2,439 |
| 有形固定資産合計 | 11,901 | 11,814 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,901 | 2,534 |
| その他 | 4,995 | 5,510 |
| 無形固定資産合計 | 7,896 | 8,045 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,337 | 1,337 |
| 繰延税金資産 | 641 | 573 |
| その他 | 1,263 | 1,142 |
| 投資その他の資産合計 | 3,242 | 3,053 |
| 固定資産合計 | 23,040 | 22,913 |
| 資産合計 | 60,639 | 60,719 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,301 | 5,788 |
| 短期借入金 | 4,595 | 10,080 |
| 未払費用 | 2,757 | 2,051 |
| 未払法人税等 | 644 | 341 |
| 引当金 | 833 | 748 |
| その他 | 939 | 2,305 |
| 流動負債合計 | 15,072 | 21,314 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 14,687 | 15,127 |
| 役員退職慰労引当金 | 177 | 191 |
| 退職給付に係る負債 | 2,664 | 2,675 |
| その他 | 1,997 | 1,801 |
| 固定負債合計 | 19,527 | 19,796 |
| 負債合計 | 34,599 | 41,111 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,976 | 3,976 |
| 資本剰余金 | 5,226 | 5,226 |
| 利益剰余金 | 15,279 | 15,287 |
| 自己株式 | △354 | △5,816 |
| 株主資本合計 | 24,128 | 18,674 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 0 | 0 |
| 繰延ヘッジ損益 | △132 | 23 |
| 為替換算調整勘定 | 1,512 | 517 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △496 | △408 |
| その他の包括利益累計額合計 | 883 | 133 |
| 新株予約権 | 36 | 45 |
| 非支配株主持分 | 991 | 755 |
| 純資産合計 | 26,040 | 19,608 |
| 負債純資産合計 | 60,639 | 60,719 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 39,536 | 35,291 |
| 売上原価 | 25,394 | 22,219 |
| 売上総利益 | 14,141 | 13,071 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,264 | 11,102 |
| 営業利益 | 2,876 | 1,969 |
| 営業外収益 | | |
| 債務時効益 | — | 20 |
| その他 | 167 | 118 |
| 営業外収益合計 | 167 | 139 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 357 | 292 |
| 為替差損 | 104 | 44 |
| その他 | 115 | 122 |
| 営業外費用合計 | 578 | 459 |
| 経常利益 | 2,465 | 1,648 |
| 特別利益 | | |
| 負ののれん発生益 | — | 489 |
| 特別利益合計 | — | 489 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 160 |
| 品質関連対応費用 | 120 | — |
| 特別損失合計 | 120 | 160 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,344 | 1,978 |
| 法人税等 | 1,103 | 1,351 |
| 四半期純利益 | 1,241 | 626 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 55 | △33 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,185 | 659 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,241 | 626 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1 | 0 |
| 繰延ヘッジ損益 | 40 | 156 |
| 為替換算調整勘定 | △475 | △1,149 |
| 退職給付に係る調整額 | 33 | 90 |
| その他の包括利益合計 | △403 | △902 |
| 四半期包括利益 | 837 | △276 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 824 | △90 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 13 | △185 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年9月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,950,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,462百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,816百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-------------------------|---------|--------|-------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 日本 | 米州 | 中国 | アジア | 欧州 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,437 | 20,053 | 5,930 | 3,007 | 1,106 | 39,536 | — | 39,536 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 9,278 | 27 | 329 | 30 | — | 9,665 | △9,665 | — |
| 計 | 18,715 | 20,081 | 6,260 | 3,037 | 1,106 | 49,201 | △9,665 | 39,536 |
| セグメント利益 又はセグメント損失(△) | 4,177 | 556 | 755 | △179 | 17 | 5,328 | △2,451 | 2,876 |

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△2,451百万円には、セグメント間取引消去△767百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,683百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-------------------------|---------|--------|-------|-------|-----|-----|--------|-------------|-------------------------------|
| | 日本 | 米州 | 中国 | アジア | 欧州 | その他 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,753 | 17,301 | 3,744 | 2,719 | 914 | 857 | 35,291 | — | 35,291 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 7,676 | 46 | 398 | — | 0 | — | 8,122 | △8,122 | — |
| 計 | 17,430 | 17,348 | 4,143 | 2,719 | 914 | 857 | 43,413 | △8,122 | 35,291 |
| セグメント利益 又はセグメント損失(△) | 3,368 | 795 | 448 | △111 | △33 | △24 | 4,444 | △2,474 | 1,969 |

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△2,474百万円には、セグメント間取引消去△131百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,343百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社の子会社である台湾開道股份有限公司(「アジア」セグメント)におけるのれんについて、当初想定していた超過収益力が見込めなくなったと判断し、帳簿価額の全額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において160百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、Scaw Metals Pty. Ltd.の全株式を取得したことにより、負ののれん発生益489百万円を計上しております。なお、当該負ののれん発生益は報告セグメントには配分しておりません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、Scaw Metals Pty. Ltd.の全株式を取得し、同社及びその子会社2社を連結の範囲に含めたことにより、「その他」を報告セグメントに追加しております。